

千葉・茨城自治協ニュース

549号 2016年3月31日/千葉・茨城公団住宅自治会協議会発行

〒273-0004 船橋市南本町1-16 森ビル201

電話 047(434)2711/FAX 047(437)4088 [E-Mail] ch_rikyo@aicos.ocn.ne.jp

この「ニュース」を増刷して各自治会の役員さんにも配ってください

UR との第2回定例懇談会開催

千葉・茨城自治協は3月9日、UR関東地域住宅経営部と今年度第2回例懇談会を千葉幕張のテクノガーデンD棟会議室で開催しました。出席は19団地25名。

テーマは、①2015年度の計画修繕 ②集会所の改修 ③団地再生事業 ④生活支援アドバイザー ⑤空き家対策など。

①の計画修繕では、URの計画修繕表が昨年度までの各団地の進捗状況を明記しものでないため、各自治会代表は、URの口頭説明を聞きながら書きとるしかなく、進捗状況の質問も仕様無く、従前通りの書式の資料を提出するよう強く申し入れました。②の集会所は2カ所目の改修をいつ実施するのですが、集会所改修は、全国自治協との定例研究会での協議となりました。③の団地再生事業は、千葉・茨城自治協関係では高根台、花見川、幸町、千草台の団地が、医療福祉拠点団地として指定された説明がありました。④生活支援アドバイザーについては、その職務、現在設置の団地における活動状況について説明がありました。⑤の空き家対策では、親子同じ団地に住む「近居」、子育て世帯、若者向け「U39」等の家賃割引制度で入居誘致、空き家解消に努めている説明がありました。

関東団地本因坊戦 千葉勢健闘

第39回関東団地本因坊戦は3月13日(日)、東京の日本棋院で開催され、千葉・茨城自治協からは、Aクラスに田中隆(花見川)、来海太郎(高津)、山田敏雄(高津)、豊田稔(千草台)、Bクラス東方田浩(高津)、佐久間洋一(幸町)、家後欣弥(花見川)、加藤照彦(行田)、Cクラス水田勇造(千草台)、牧野正幸(幸町)、高橋長平(幸町)、星野利明(高津)の諸氏が出席。成績は、Aクラス準優勝来海太郎(高津)、Bクラス優勝東方田浩(高津)、Cクラス3位水田勇造(千草台)の成績を収めました。おめでとうございます。

みどりのカーテンコーヤの配送は、5月連休明けの予定です

今年の申込み数は15団地です。例年通り各自治会に届けられます。立派に育てましょう

UR「見守りサービス」(裏面参照)を始めました

各自治会への説明は、各住まいセンターが行います。

アルビス前原団地自治会 建替え取組みの歩み

好評 健康マージャン!

アルビス前原団地の建替えが終わり、2008年(平成20年)当初計画1,650戸の約束の半分759戸全てが戻り入居しました。

建替えと並行して実現させた自治会活動の拠点である念願の自治会館は9年目を迎えます。改めて、これ迄を振り返って見ると、長い様で短かった激動の20年でした。

1995年(平成7年)県内初めての大型団地(1,428戸)の建替えに指定された時、団地内に激震が走りました。

中学校で開催された説明会時に示された戻り家賃は当時の家賃(平均45,000円=2DK)の3倍にもなり、前原を故郷として永久に住み続けたいと願っていた「居住者」には「追い出し」にも等しい内容でした。戻りたくても戻れないと、多くの人達が、住み慣れた前原をあとに、終の住家を求め転居していきました。

建替え計画では、当初1,650戸を建設するとしていましたが、約半分の戸数にする、余剰地はすべて民間へ売却する。との変更案が発表された時、団地内に2度の激震が走りました。

建築戸数の減少で、自治会の存続が危ぶまれる状況のなかで、余剰地に建設される民間住宅も含めたコミュニティづくりが、自治会の役割であると、3者協議会(自治会、公団、船橋市)に働きかけ、次々と建設される分譲住宅等の管理組合と話し合いを重ね、すべての管理組合を自治会組織に加盟させることができました。

しかし、建替え運動によって永年培ってきた各部の多くが廃部となり、新たな活動を立ち上げていくエネルギーは筆舌にはつくしがたいものがありました。

戻り入居後、自治会館を拠点として少しずつ活動を復活させています。売却された土地に建設された民間住宅(準会員)の居住者と自治会との協力関係は良好で、盆おどりやイベント、防災問題の取組み等、コミュニティづくりが進んでいます。

建物の建替えは終わってもUR賃貸住宅の私たち自治会を中心に生きいきと暮らしていける住環境と、前原全体を調和の取れた街に更に発展させ、コミュニティを図っていく課題は山積しています。

自治会のスローガンは「遠くの親戚より、近くの自治会」、高齢者が生き生きと、毎日を過ごせる取組みとして、昨年9月、1卓から始めた脳トレの健康マージャンは、その後、希望者が次々と増え、今や、7卓で開催しています。

自治会館では、毎回真剣な眼と笑いの渦で大賑わい。まだまだ増えそうな気配にスタッフ一同うれしい悲鳴をあげています。(文責 窪田)

今回号より、組織部での協議の結果、各自治会の歩みや取組み状況を掲載することになりました。掲載お願いの際は、文章を宜しくお願い致します。